





NEW FACES

令和5年度新入社員特集

1

MEMBER

西田 陸人 (にしだ りくと)

所属部署: 土木部 工務課

- 特技: ボルダリング
- 座右の銘: やりたいと思えば挑戦すればいい
- 今はまっているもの: ゲーム

●意気込み
祖父が土木の仕事をしており幼い頃から見ていて、自分も興味を持ちました。物作りが好きで自分に合っている仕事だと思い、土木の道に進みました。まだ入ったばかりでわからないこともたくさんですが、先輩から色々教わって立派な土木技術者になりたいです。



2

MEMBER

大山 将史 (おおやま まさし)

所属部署: 建築部 工務課

- 特技: きれいな写真を撮影すること
- 座右の銘: ところで平凡な俺よ、下を向いている暇はあるのか
- 今はまっているもの: 様々なジャンルの音楽を聴くこと

●意気込み
大工をやっている父親がきっかけで幼いころからものづくりに興味がありました。それから専門学校で建築を学び、施工管理で人々の役に立ちたいと思い就職先を決めました。いち早く仕事を覚え、現場で活躍できる技術者になれるように頑張ります。よろしくお願いたします。



3

MEMBER

高橋 侑希 (たかはし ゆうき)

所属部署: 建築部 工務課

- 特技: 人の相談にのること
- 座右の銘: やって後悔しようと思ったとき、失敗はあるが後悔はしない
- 今はまっているもの: 洋画鑑賞

●意気込み
ものづくりに興味を持ち、大学で建築を学んだことで、この先も建築に関わっていきたいという思いが強くなり当社への就職を決めました。まだまだ分からないことだらけですが、いち早く現場の力になれるよう精一杯努力していきますので、よろしくお願いたします。



4

MEMBER

山本 悠太 (やまもと ゆうた)

所属部署: 建築部 管理課

- 特技: 寝ること
- 座右の銘: 果報は寝て待つ
- 今はまっているもの: 美味しいご飯屋を発見すること

●意気込み
建設業の魅力の一つとしてやりがいが見えるということがあると思います。その中でも萩原建設は地域に密着して建設を行っているところがこの会社に就職を決めたきっかけでした。これからも現場の方々のサポートを精一杯頑張って、自分も地域の発展の役に立っていきたくです。



「北海道DX推進協働体様 成果報告会」 にて取り組み事例の発表をいたしました!!



令和5年3月23日(木)、札幌市にておこなわれた北海道DX推進協働体様の成果報告会にて、当社の社長室業務改革推進グループ・チーフ 高嶋が取り組み事例の発表をさせていただきました。

現在当社では働き方改革の一環として「DX (Digital Transformation)」に取り組んでおり、当協働体様には伴走型支援にてご協力いただいたご縁もあり、今回の発表の場を頂きました。近年よく目にする「DX」というキーワードですが、総じて「ビジネスや社会の様々な領域において、デジタル技術を活用して新たな価値を創造し、効率化や革新を図ることであり、具体的にはAIやIoT、クラウド等の技術を用いて、顧客体験の向上やビジネスプロセスの最適化、新しいビジネスモデルの創出等へ取り組む」という概念です。

当社はこの概念を元に「業界イメージの変革」「ライフ・ワーク・バランスへの取り組み」「建設業の新たな働き方の創出」といった項目に着手しており、当日は伴走型支援に参加した13社のうち、当社を含めた3社の企業より、約130名の聴衆の皆様へ取り組み事例の発表をさせていただきました。

今後益々活発になるであろうデジタル技術との共存社会に向けて、僭越ながら当社は建設業のリードカンパニーとなるべく、時に異業種との交流や知見等も深めながらDXに取り組んでいきます。

📷 今月の表紙

撮影：萩原建設工業 営業部・仁藤 正憲

6月号の表紙は雨上がりハルニレの前を散歩するタンチョウのつがいです。特別天然記念物のタンチョウは鶴居村や釧路のイメージがあると思いますが、この十勝にもタンチョウが増えてよく見かける様になりました。タンチョウは日本に生息する野鳥の中では最大級の大きさで、体長は約140cm、羽を広げると約240cmに達することもあるのだそうです。頭頂部が鮮やかな赤で純白な羽毛に覆われお尻の羽は墨染色という特徴的な姿の鳥です。歩き姿もどこか優雅で美しく、私は仕事の移動時にタンチョウを見つけると嬉しくなります。



萩原建設工業は
2023年4月1日、



DX認定

を取得しました!!

DX認定制度: ビジョンの策定や戦略・体制の整備などをすでに行い、DX推進の準備が整っている (DXReady) 事業者を経済産業省が認定する制度

